

## 第2章 平成29年度事業実績

## 第 1 総務企画部

### 1 総務企画課

#### **(1) 地域保健医療福祉の総合的な推進**

##### 1 厚生統計関係調査事業

国の厚生統計施策の基礎資料を得るとともに、保健・医療・福祉分野の施策を効果的・効率的に推進するため、各種統計調査を実施しました。

##### (1) 保健衛生統計調査

- ア 人口動態調査（毎月）
- イ 医療施設動態調査（毎月）
- ウ 病院報告（患者票：毎月）
- エ 衛生行政報告例（年度報：5月）
- オ 地域保健・健康増進報告（年度報：6月）
- カ 国民生活基礎調査（調査員説明会：4月、調査実施：6月～7月）
- キ 社会保障・人口問題基本調査（7月）
- ク 受療行動調査（調査員説明会：10月、調査実施：11月）
- ケ 医療施設静態調査（調査日：10月1日）
- コ 患者調査（調査実施：10月）

##### (2) 社会福祉統計調査

福祉行政報告例（月報、年度報）

##### (3) 公衆衛生資料等の整備

人口動態調査等の統計データを収集し、「図表で見る福島県相双地域の保健・医療・福祉の動向」を作成しました。

##### 2 地域保健医療福祉推進事業

地域における保健・医療・福祉の連携を強化し、地域の実態に即した保健医療福祉施策を推進するため、関係各部門の委員からなる相双地域保健医療福祉協議会を開催しました。

開催月日：平成 29 年 12 月 20 日

開催場所：県環境創造センター環境放射線センター 大会議室

議 事：福島県相双地域保健医療福祉推進計画の進行状況について

■相双地域保健医療福祉協議会委員名簿

No	区 分	関係機関(役職名)	氏 名
1	医療①	相馬郡医師会長	樋口 利行
2	②	双葉郡医師会長	堀川 章仁
3	③	相馬歯科医師会長	菅野 明彦
4	④	相馬薬剤師会長	八牧 将彦
5	⑤	福島県看護協会相双支部長	湯澤 君子
6	⑥	公立相馬総合病院長	金田 寛之
7	保健①	相双地区食生活改善推進協議会長	菅野 一代
8	②	相馬市保健センター所長	赤石澤 珍夫
9	③	南相馬市健康づくり課長	高玉 利一
10	④	檜葉町住民福祉課長	松本 智幸
11	福祉①	相双地区特別養護老人ホーム連絡協議会長	大堀 武
12	②	さくらがおか保育園長	永井 清美
13	③	福島県精神保健福祉協会相双支部長	熊倉 徹雄
14	④	南相馬市社会福祉協議会長	西浦 武義
15	一般①	NPO法人さぽーとセンターぴあ代表理事	青田 由幸
16	行政①	相馬地方広域市町村圏組合事務局長	橘川 茂男
17	②	双葉地方広域市町村圏組合事務局長	秋元 正國
18	③	県相双地方振興局長	佐々木 秀三
19	④	県相双教育事務所長	午來 勝頭
20	⑤	県浜児童相談所長	箭内 哲男

3 地域医療介護総合確保基金事業【所重点】

団塊の世代が後期高齢者となる平成35(2025)年を見据え、医療介護総合確保促進法に基づく福島県計画や地域における在宅医療の在り方等について協議するため、相双地区地域包括ケアシステム構築推進会議を開催しました。

開催月日・会場	議 事
平成29年9月6日 県環境創造センター環境放射線センター大会議室	① 平成29年度地域医療介護総合確保促進法に基づく福島県計画 ② 平成30年度地域医療介護総合確保基金事業提案募集 ③ 自立支援型地域ケア会議について ④ 講演：認知症の早期発見及び早期対応に向けての取り組み 講師：日本赤十字社福島赤十字病院 認知症疾患医療センター長 後藤 大介氏

開催月日・会場	議 事
平成 30 年 3 月 20 日 県環境創造センター環境放射線センター大会議室	① 相双圏域における地域支援事業の主な取組状況 ② 平成 29 年度における相双医療圏退院調整ルール運用後の課題と対応状況 ③ 相双地域の在宅医療に関するアンケートの実施について ④ 相双地域の医療資源等の情報集約・提供について ⑤ その他

#### 4 福祉避難所の指定促進事業【全庁重点】

県（本庁保健福祉総務課）では「県内全市町村に要配慮者が安心して避難できる避難所が確保され、広域的な避難に対応できる体制が整備されている」ことを目指して、これまで、市町村への指定状況の調査、ガイドラインの作成、市町村への個別訪問、研修会の開催等に取り組んできました。当所は、研修会への参画や未指定市町村への個別訪問同行を担ってきたところですが、平成 29 年度には新規指定はありませんでした。

福祉避難所指定済市町村：8 市町村（48 施設）

未指定市町村：4 町（富岡町、大熊町、双葉町、浪江町）

（平成 30 年 3 月 31 日現在）

#### 5 出前講座【創意事業】

保健・衛生・福祉に関する正しい知識の普及啓発を図るため、地域住民、企業、学校等の希望に応じて、当所職員を講師として派遣する「出前講座」を実施しました。

##### ■出前講座実績

	分野	講座名	内 容	対象者	担当課	開催実績
1	健康	たばこに関する健康講座	たばこの健康影響や受動喫煙の防止等について	一般住民 小中高生 事業所	健康増進課	1
2	健康	お口の健康講座（歯周病予防）	食事などを楽しむための歯の健康について	一般住民 高校生 事業所	健康増進課	1
3	健康	こころの健康講座	「こころ」の健康の大切さについて	事業所等	保健福祉課	3
4	医療	薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」	乱用されている薬物の心身への影響や薬物に関する正しい知識について	小中高生 専門学校生 一般住民	医療薬事課	2

	分野	講座名	内 容	対象者	担当課	開催実績
5	医療	薬の正しい使い方	病院などで処方された薬や薬屋さんから買った薬の注意点等について	一般住民	医療薬事課	1
6	感染症	感染症予防講座	インフルエンザ、感染性胃腸炎及び性感染症等について、症状から予防策まで	一般住民 事業所	医療薬事課	6
7	感染症	エイズ・性感染症のおはなし	エイズ等の感染予防や検査方法等について	一般住民 事業所 小中高生 保護者	医療薬事課	1
8	感染症	結核ミニ講座	結核がなぜ今増えているのか、早期発見、治療等について	一般住民 施設 事業所	医療薬事課	2
9	衛生	食品衛生教室	食中毒の原因からその予防まで、食品衛生のルールについて	一般住民 事業所	衛生推進課	6
10	衛生	理美容消毒衛生講座	理美容の衛生管理について	事業所	衛生推進課	2
11	衛生	宿泊施設衛生講座	宿泊施設の衛生管理について	事業所 一般住民	衛生推進課	3
合計						28

## (2) 人材の育成

### 1 地域保健福祉関係職員研修事業

適切な行政サービスを提供できるようにするため、地域保健福祉関係職員の資質の向上を図りました。

#### (1) 福島県地域保健福祉職員新任研修のフォローアップ研修

本庁保健福祉総務課主催の新任研修を受講した相双及びいわき管内の県及び市町村職員を対象としたフォローアップ研修を開催しました。

##### ア 相双管内

開催月日：平成 29 年 9 月 13 日

開催場所：県相双保健福祉事務所 大会議室

参加者：6 人（南相馬市・県相双保健福祉事務所職員）

内 容：講義、演習「相談面接の実践～自己理解と他者理解～」

イ いわき市

開催月日：平成 29 年 9 月 26 日

開催場所：県いわき合同庁舎

参加者：13 人（いわき市・県浜児童相談所・県相双保健福祉事務所いわき出張所職員）

内容：① 講義、演習「円滑なコミュニケーションのコツ」

② 演習・ロールプレイ

(2) 保健医療福祉関係実習生の指導

保健・医療・福祉従事者養成機関等の要請に応じて、当該学生に対する教育指導を行いました。

■実習生指導実績

養成機関及び対象者	実習人員 人	実習延べ 日数 日	実習期間
福島県立医科大学 看護学部 4 年生	2	2	平成 29 年 6 月 15 日、 8 月 17 日
福島県立医科大学 看護学部 2 年生	6	9	平成 29 年 11 月 6～10 日、11 月 13～16 日
尚絅学院大学 総合人間学部 健康栄養学科 3 年生	2	5	平成 29 年 8 月 28 日～9 月 1 日
東北医科薬科大学 薬学部 5 年生 奥羽大学薬学部 5 年生 (県薬剤師会からの依頼)	4	4	平成 29 年 7 月 10～11 日、10 月 16～17 日
計	14	20	

2 保健師現任教育推進事業

福島県現任教育指針及びプログラムに基づき、組織全体で現任教育を支える環境を構築しました。

(1) プリセプター所内会議

年 1 回（平成 30 年 3 月 19 日）

(2) 保健師現任教育所内打合せ

年 3 回（平成 29 年 5 月 18 日、10 月 20 日、平成 30 年 3 月 19 日）

(3) 保健師現任教育所内研修会

年 2 回（平成 29 年 10 月 20 日、平成 30 年 2 月 19 日）

(4) 研修会の開催

年4回（平成29年7月21日、10月3日、11月20日、平成30年1月19日）

3 地域保健福祉活動推進研修事業【所重点】

効果的な地域保健対策を推進するため、市町村等の職員に対する研修を実施し、関係職員の資質の向上を図りました。

(1) 保育所等における感染症予防研修会

開催月日：平成29年10月13日

開催場所：かしま交流センター、南相馬市立かしま保育園

参加者：33人

内 容：① 事務連絡「保育所等における感染症・食中毒発生時の報告基準等について」  
② 講義「保育所・施設における感染症対策」  
③ 実習「保育所内ラウンド（施設内の感染症予防のポイント）」

4 地域医療体験研修事業【所重点】

将来の地域医療の担い手を育成するため、地域医療に関心のある医学部生を対象にへき地診療所等の地域医療の現場視察や地域住民との交流などの体験の場を提供しました。

■ 体験研修開催実績

単位：人

実施日	内 容	参加者
平成29年 8月22 ～24日	① 地域医療の現場の視察 公立相馬総合病院、富岡町立とみおか診療所、川内村保健福祉医療複合施設「ゆふね」 ② 医師や臨床研修医等との懇談会 公立相馬総合病院、相馬郡医師会 ③ 地域住民との交流・事例検討 南相馬市社会福祉協議会 南相馬市地域包括支援センター ④ 地域の高齢者福祉施設の視察 特別養護老人ホームかわうち ⑤ 被災地の復興状況と地域の視察 富岡町役場（経路沿線市町村：相馬市、南相馬市、浪江町、双葉町、大熊町、川内村） ⑥ KJ法によるグループワーク、課題研究・発表	13

### **(3) 青少年の健全育成**

#### **1 青少年健全育成調査指導事業**

青少年健全育成条例の適正な運用を図るため、有害図書類の購入調査、有害環境の実態調査及び関係業界に対する指導を行いました。

- (1) 有害図書類の指定後における書店等の指導  
実施時期：6月、12月、2月（延べ18店舗）
- (2) 自動販売機の届出事項の確認調査及び業界指導  
管内においては、有害図書類の自動販売機の設置実績はありませんでした。
- (3) 書店、ビデオ店等実態調査及び業界指導  
実施時期：11月（14店舗）

### **(4) 民間団体への支援**

#### **1 民生委員及び児童委員諸活動支援事業**

民間奉仕者である民生委員及び児童委員の活動の支援を通して、社会福祉の増進を図るため、民生委員及び児童委員の選任手続や民生委員協議会への負担金の交付等を行いました。

- (1) 民生委員に対する報償費  
対象者数：503人
- (2) 児童委員に対する報償費  
対象者数：503人
- (3) 民生委員協議会に対する負担金  
対象協議会数：26件

■民生・児童委員の状況

(平成30年4月1日現在)

単位：人

市町村 (方部)	定数 (うち主 任児童 委員)	現数 (うち主 任児童 委員)	民生委員協議会		
			名称	会長	事務局
相馬市 第1方部	21 (2)	20 (2)	相馬市第1方部民生 委員協議会	佐々木 政喜	相馬市 社会福祉課
相馬市 第2方部	12 (2)	12 (2)	相馬市第2方部民生 委員協議会	渡部 晴秀	〃
相馬市 第3方部	9 (2)	9 (2)	相馬市第3方部民生 委員協議会	建藤 洋悦	〃
相馬市 第4方部	6 (2)	6 (2)	相馬市第4方部民生 委員協議会	松村 浩安	〃
相馬市 第5方部	6 (2)	6 (2)	相馬市第5方部民生 委員協議会	桑折 陽子	〃
相馬市 第6方部	8 (2)	8 (2)	相馬市第6方部民生 委員協議会	中城 テル子	〃
相馬市 第7方部	7 (2)	7 (2)	相馬市第7方部民生 委員協議会	苅宿 司	〃
相馬市 第8方部	5 (2)	5 (2)	相馬市第8方部民生 委員協議会	大橋 文子	〃
相馬市 第9方部	12 (2)	12 (2)	相馬市第9方部民生 委員協議会	山中 泰弘	〃
相馬市計	86 (18)	85 (18)	相馬市計	9民協	
南相馬市 原町区 原町方部	51 (3)	47 (3)	南相馬市原町民生委 員児童委員協議会	横山 誠	南相馬市社 会福祉協議 会
南相馬市 原町区 高平方部	11 (2)	11 (2)	南相馬市高平民生委 員児童委員協議会	渡部 美智子	〃
南相馬市 原町区 大甕方部	12 (2)	11 (2)	南相馬市大甕民生委 員児童委員協議会	長谷川 幸雄	〃
南相馬市 原町区 太田方部	10 (2)	10 (2)	南相馬市太田民生委 員児童委員協議会	鈴木 信祐	〃
南相馬市 原町区 石神方部	20 (2)	18 (2)	南相馬市石神民生委 員児童委員協議会	佐藤 正彦	〃
南相馬市 鹿島方部	34 (2)	31 (2)	南相馬市鹿島民生委 員児童委員協議会	木村 敏子	〃
南相馬市 小高方部	36 (2)	31 (2)	南相馬市小高民生委 員児童委員協議会	林 靖	〃
南相馬市計	174 (15)	159 (15)	南相馬市計	7民協	

市町村 (方部)	定数 (うち主 任児童 委員)	現数 (うち主 任児童 委員)	民生委員協議会		
			名称	会長	事務局
広野町	17 (2)	17 (2)	広野町民生委員協議会	久賀 三枝子	広野町健康福祉課
檜葉町	22 (2)	21 (2)	檜葉町民生児童委員協議会	松本 宏美	檜葉町社会福祉協議会
富岡町	34 (2)	33 (2)	富岡町民生児童委員協議会	面川 岩海	富岡町社会福祉協議会
川内村	13 (2)	13 (2)	川内村民生委員協議会	新妻 かつゑ	川内村社会福祉協議会
大熊町	27 (2)	25 (2)	大熊町民生児童委員協議会	根本 友子	大熊町社会福祉協議会
双葉町	20 (2)	20 (2)	双葉町民生児童委員協議会	新工 澄子	双葉町社会福祉協議会
浪江町	59 (3)	56 (3)	浪江町民生委員協議会	鈴木 芳徳	浪江町社会福祉協議会
葛尾村	10 (2)	10 (2)	葛尾村民生児童委員協議会	東海林 憲一	葛尾村社会福祉協議会
新地町	26 (2)	26 (2)	新地町民生児童委員協議会	八巻 円	新地町社会福祉協議会
飯館村	29 (2)	29 (2)	飯館村民生児童委員協議会	松原 光年	飯館村社会福祉協議会
郡部計	257 (21)	250 (21)	郡部計	10民協	
合計	517 (54)	494 (54)	合計	26民協	

## (5) 社会福祉法人の認可、法人・施設の適正な運営の確保

### 1 社会福祉法人指導事務

社会福祉法人・施設の適正な運営を確保するため、社会福祉法に基づく認可等事務を行いました。

変更認可件数：3件

変更届出件数：1件

### 2 社会福祉法人監督事務

社会福祉事業の健全な経営と公正な運営を確保するため、社会福祉法人に対する指導監査を実施しました。

■社会福祉法人監査の実績

単位：件

種 類	対象数	実施数	備 考
施設経営法人	11	4	本庁福祉監査課実施分2法人含む。
社会福祉法人 (保育所のみ経営)	2	1	
町村社会福祉協議会	10	2	
合計	23	7	

**(6) 生活保護の適正実施**

1 行旅死亡人取扱負担金

行旅病人及び行旅死亡人の医療、葬祭等に要した費用について、遺留金品や扶養義務者等により弁償されない場合に、市町村が負担した費用について、必要経費を審査し、実施機関である市町村へ交付しました。

交付件数：2件

※行旅死亡人とは、行き倒れになって死亡し、遺体の引き取り者がいない人のこと。

**(7) 援護事業の推進**

1 援護業務施行事務

経常的な下記援護業務を行いました。

- (1) 全国戦没者追悼式、福島県戦没者追悼式への参列遺族等に関する遺族会との連絡調整

各追悼式へ参列する遺族について、遺族会と連絡調整しました。

- (2) 福島県戦没者追悼式への参画

追悼式の会場設営、参列遺族の案内等を行いました。

開催月日：平成29年10月20日

開催場所：とうほう・みんなの文化センター（県文化センター）

- (3) 管内の戦没者追悼式への参列

管内の戦没者追悼式へ相双保健福祉事務所長が参列し、献花を行いました。

- ア 双葉郡並びに浪江町戦没者追悼式

開催月日：平成29年10月24日

開催場所：浪江町地域スポーツセンター

- イ 平和を願い戦没者を追悼する市民の式典

開催月日：平成29年11月10日

開催場所：相馬市総合福祉センター はまなす館

## 2 戦傷病者特別援護法に基づく援護業務

戦傷病者特別援護法に基づき、戦傷病者乗車券類引換証の交付等に関する事務を行いました。

- (1) 引換証の交付  
    交付件数： 4 件  
    交付枚数：14 枚
- (2) 引換証一覧表の整理